

令和4年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名：大分県

農業委員会名：大分市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和3年3月10日

任期満了年月日 令和6年3月9日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	14
認定農業者	—	9
認定農業者に準ずる者	—	
女性	—	1
40代以下	—	
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	30	30	30

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	3,733
農業経営体数	1,650

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	2,076
女性	746
40代以下	76

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	177
基本構想水準到達者	0
認定新規就農者	11
農業参入法人	19
集落営農経営	24
特定農業団体	0
集落営農組織	24

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	2,910	972				3,880

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	3,880	ha	828.3	ha	21.3	%
課題	農地所有者の世代交代が進み、土地持ち非農家や未相続地の増加などによる農地の分散化が進んでおり、利用権設定等促進事業や農地中間管理事業の推進の障害となっている。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和4年度	集積率	80%
今年度の新規集積面積	2,275.7 ha	農地面積(C)	3,880 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	3,104 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	80.0%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	1.0 ha	0.9 ha	0.1 ha
課題	農地の利用状況調査の円滑な実施及び遊休農地の所有者等に農地の有効利用の重要性等を理解してもらうことが必要。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	0.9 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.2 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.1 ha
--------------------------	--------

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	行程表の策定に向け、大分県、大分市及び農地バンク等の関係機関と協議を行う。
-------------------------	---------------------------------------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	ha
---------------------------	----

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和元年度新規参入者		令和2年度新規参入者		令和3年度新規参入者	
	9	経営体	10	経営体	9	経営体
	4.7	ha	13.4	ha	1.9	ha
課題	農業就農人口は減少の一途をたどっていることから、農業をリタイアする方々が新規就農者を上回っていると考えられる。 農家子弟の帰農者や非農家出身の新規参入者等に対し、営農に適した農地の確保、及び営農の継続に向けたフォローアップ活動が必要であると考えられる。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
	27.0 ha	26.1 ha	35.3 ha	29.5 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積	3.0 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。))及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10 日/月	最適化活動を行う 農業委員の人数	13 人
		農地利用最適化推進委員の 人数	30 人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
5月	遊休農地の解消	遊休農地の発生防止・解消のため、権利移動が行われた農地を確認し必要に応じ所有者・耕作者への指導等を行う。
10月	農地の集積	貸借期間の終期を迎える農地の所有者及び耕作者の今後の農地利用についての意向把握を行い、農地の集積につなげる。
12月	農地の集積	高齢化や相続等により耕作が困難になると見込まれる農地について、今後の農地利用についての意向把握を行い、農地の集積につなげる。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	令和4年8月20日	相談会名	おんせん県おおいた就農・就業応援フェア
参加者数	7名	開催場所	大分市コンパルホール
相談会の内容	・新規就農した先輩による体験発表、就農支援制度説明などの就農セミナー ・就農学校、ファーマーズスクール、しいたけ、畜産等の法人等による就職説明会		

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)